

一般質問



定住政策（高齢者移住対応と子育て世代支援）

- 問** 日本創成会議が提案した高齢者移住をどう考えるか。
答 本市の充実した医療・介護を最大限生かして進めるが、



スポーツを通した健康づくりと施設の整備

- 問** 御大典記念グラウンド改修工事について聞きたい。
答 交付金と助成金を活用し、27年度中にトラックレーン



定住促進（結婚サポートを全力で支援）

- 問** 大牟田・柳川・みやま市の3市合同での結婚サポートセンター（なかだつあん）の取り組みについて聞きたい。

国が負担軽減のための制度改革を行う必要があると考える。

- 問** 子育て世代へのワンストップ窓口と今後の支援策は。

答 国が示している妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を実施する拠点として、子育て世代包括支援センターの設置を検討していく。

- 問** 子供のインフルエンザ予防接種の助成をしてはどうか。

答 国の予防接種全体の検討状況等を注視し、他自治体の助成の範囲等を調査したい。

- 問** 定住や移住の情報発信サ

等の全面的な改修を行う予定。

- 問** 公園の施設整備について、考え方を聞きたい。

答 諏訪公園、延命公園など、スポーツやレクリエーションを楽しめる場として、利用者のニーズを踏まえた公園施設の整備、管理に努める。

- 問** （仮称）総合体育館建設の進捗状況について聞きたい。

答 新しい総合計画に盛り込むため26年度に基礎調査を実施し、新たな体育館建設候補地、並びに規模や機能の検討を行い、複数の案を取りま

答 結婚相談・パートナーの紹介、イベントの開催を通して圏域内の独身男女に出会いの場を提供し、結婚につなげる取り組みをしている。

登録者については、平成24年度末443人、平成25年度末586人、平成26年度末718人であり、結婚に至った件数は平成24年度以降11組にとどまり、伸び悩んでいる。

インターネットを正しく利用する能力

- 問** インターネットリテラシ

イ「全国移住ナビ」等において、本市の情報発信や管理をきちんと行うべきでは。

- 答** データ更新については随時行なうなど対応していきたい。

地域包括ケアシステムの取り組み

- 問** 現在の取り組みと予定は。

答 清掃や食事の提供、安否確認等の生活支援サービスを地域で構築するため、10月から各地域包括支援センターに生活支援コーディネーターを配置する予定。

とめたところ。近々報告したい。

安心・安全なまちづくり

- 問** 陳情等に伴う市道（生活道路）整備のために、1年間大規模な道路工事を延期して解消できないか。

- 答** 現在の市民要望を解消するには、4、5年かかる。

道路新設や改良工事には国の補助金等の財源の措置があるが、維持に伴う工事費用は全額が市の負担であり、財源の捻出に苦労している。

- 一・情報マナーの取り組みについて聞きたい。

答 各学校においては、学習指導要領に基づき、情報教育の一環として教育指導計画に位置づけ、取り組んでいる。

自動車免許証がなくても安心して暮らせるまちづくり

- 問** 高齢者の自動車運転免許証自主返納について、支援策と考えを聞きたい。

答 民間が行なう支援策の周知啓発とともに公共的な交通ネットワーク整備が必要と思う。